

KIRAMEKI

vol. 27 January 2010

社団法人 北海道空調衛生工事業協会
<http://www.doukuei.or.jp>



全ては、この1冊から...
RE・START

新年あけまして
おめでとうございます。

昨年は歴史に残る「チエンジ」の年でした。

私たちは、かつて経験したことのない大転換期を迎えておりますが、
どういう時代であれポジティブな思考で今年も進んで参りましょう。

池田

薰



平成21年度 スローガン

法令と企業倫理に沿った事業運営を推進し、業界の
社会的評価を高めよう

「適正価格での受注」を推進し、安定した経営基盤
で技術と経営に優れた企業を目指そう

直接発注（分離発注）運動を推進し、「透明なコス
トで優れた品質」の提供を強くアピールしよう

品質と環境を重視する事業活動を通じて地球環境の
保全に貢献しよう

第14回全道会議

钏路にて開催



第14回全道会議は、全道から75名の会員が参加して、8月21日（金）钏路市（钏路全日空ホテル）で開催した。

当日は、参加会員による意見交換会に続き、北海道から建設部建築局長 瀧田裕道様、同建築局建築整備課主幹 高清水信彦様をお招きして「平成21年度の當緒行政について」「総合評価方式の試行について」のテーマで講話をいただいた。

また、講演会は(社)日本空調衛生工事業協会専務理事 坂山修平様をお招きしたが、当日、钏路空港の気象が悪く強風のため着陸できず、中止せざるを得ないハブニングに見舞われた。なお、坂山専務理事にはJRに乗り換え懇親会からご出席いただいた。

会議の締めとして、次回の開催地（室蘭）である田村道空衛常任理事・日胆支部長の歓迎挨拶で閉会した。

また、総会後に懇親会を開催し、钏路市長 蛯名大也 様のご来賓挨拶と会員等85名が出席して懇親を深めた。

全道会議の資料・意見交換会の概要並びに建設部建築局長 瀧田裕道様の講話内容につましましては、道空衛ホームページに掲載しましたのでご覧下さい。

活動状況

- 第1回 平成15年5月12日・空知支部（岩見沢市：ホテルメープルロッジ）
岩見沢市長に要望書提出
- 第2回 平成16年5月14日・道南支部（函館市：函館国際ホテル）
函館市長に要望書提出
- 第3回 平成17年5月13日・釧路支部（釧路市：釧路パシフィックホテル）
釧路市長に要望書提出
- 第4回 平成18年5月12日・道北支部（旭川市：旭川ターミナルホテル）
旭川開発建設部長に要望書提出
- 第5回 平成19年5月11日・日胆支部（室蘭市：ホテルサンルート室蘭）
室蘭開発建設部長に要望書提出
- 第6回 平成20年5月16日・オホーツク支部（北見市：温根湯 大江本家）
意見交換「日空衛環境行動計画について」
- 第7回 平成21年5月15日・十勝支部（帯広市：ホテル日航ノースランド帯広）
意見交換「事務局等協会の運営体制について」

移動常任理事会が終了

平成15年5月12日に第1回の移動常任理事会を空知支部（岩見沢市）にて開催し、平成21年5月15日の十勝支部（帯広市）を最後に全7回、7年に渡り全道各支部を巡った会議が終了した。

平成14年12月の常任理事会で当年度の反省会を行った。

話題の中心は、10月9日札幌で開催した第9回空衛全国会議の運営状況で、全国から400名の会員が一同に会した会議や懇親会そして翌日の旅行会の苦労話が中心だった。

その中で、会員相互の「コミュニケーションの推進」と「情報の共有化」の重要性について提言があり、この常任理事会のメンバーが直接会員と話し合う、小規模な場も必要であるとの結論に達した。

名称を「移動常任理事会」とし、開催地を全道会議と重ならない支部として、常任理事会後に支部会員との意見交換会を開催することとした。

このような経緯でスタートした「移動常任理事会・支部会員との意見交換会」は別記のとおり、平成21年第7回の十勝支部で支部を一巡したため、これを節目に閉会することとした。

この7年間を振り返り、初期の目的は充分達成することができたが、建設産業を取り巻く環境は大きく様変わりし、その影響を受けて協会の運営も大きな曲がり角に直面している。このような環境の変化を踏まえて、有用な新たな施策を模索することとしますが、7年間の主な活動状況について上記のとおり報告します。



壮瞥町役場庁舎及び 壮瞥町地域交流センター

YAMABIKO

『山美湖』

壮瞥町建設課・係長 山崎清輝
同・技師 傳法誠輝

壮瞥町は、北海道の南西部に位置し、北海道の代表的な観光資源である有珠山、昭和新山、洞爺湖等を有する観光と、果樹栽培、稻作等の農業が基幹産業の町であります。

地域交流センターは、既成市街地の活性化を図るために、文化・芸術活動に身近にふれる機会を創出すると共に、町民活動の発表の場として、町民の文化・芸術活動及びコミュニティ活動の活性化を図る施設として建設されました。

また、老朽化の進んだ役場庁舎の建て替えと、地元金融機関の移転の時期でもあつたため、建設コストの低減や、複合施設として効率的に利用していただけるよう、地域交流センターと役場庁舎、金融機関を合築して整備しました。



『山美湖』とは

地域交流センターの愛称である『山美湖』は、一般公募により決定いたしました。読み方は「やまびこ」で、風光明媚な洞爺湖、近くに有珠山・昭和新山、また羊蹄山・オロフレ・ホロホロ山の美しい遠望、これら壮瞥町ならではの風景を文化芸術の発信の場の名称にと命名されました。



施設概要

建築場所：有珠郡壮瞥町字滝之町287番地7

構 造：鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造

階 数：地上2階建て

主要用途：地域交流センター・役場庁舎
金融機関

敷地面積：9,986.50m²

建築面積：2,771.78m²

延床面積：3,760.79m²

地域交流センター：1,992.91m²

役場庁舎：1,396.24m²

金融機関：221.79m²

車 庫 棟：149.85m²

設計監理：株式会社 岡田設計

施 工：

(建築主体) 菱中・伊藤・道栄 特定建設工事
共同企業体

(電気設備) 末廣屋・堀口 特定建設工事共同
企業体

(機械設備) サンプラント・栗林・堀口 特定
建設工事共同企業体

(舞台照明設備工事) 株池下電設

(舞台機構設備工事) 株小林舞台システム

(舞台音響設備工事) システムサービス(株)

工 期：平成19年9月～平成20年11月



● ロビーから観た役場事務室



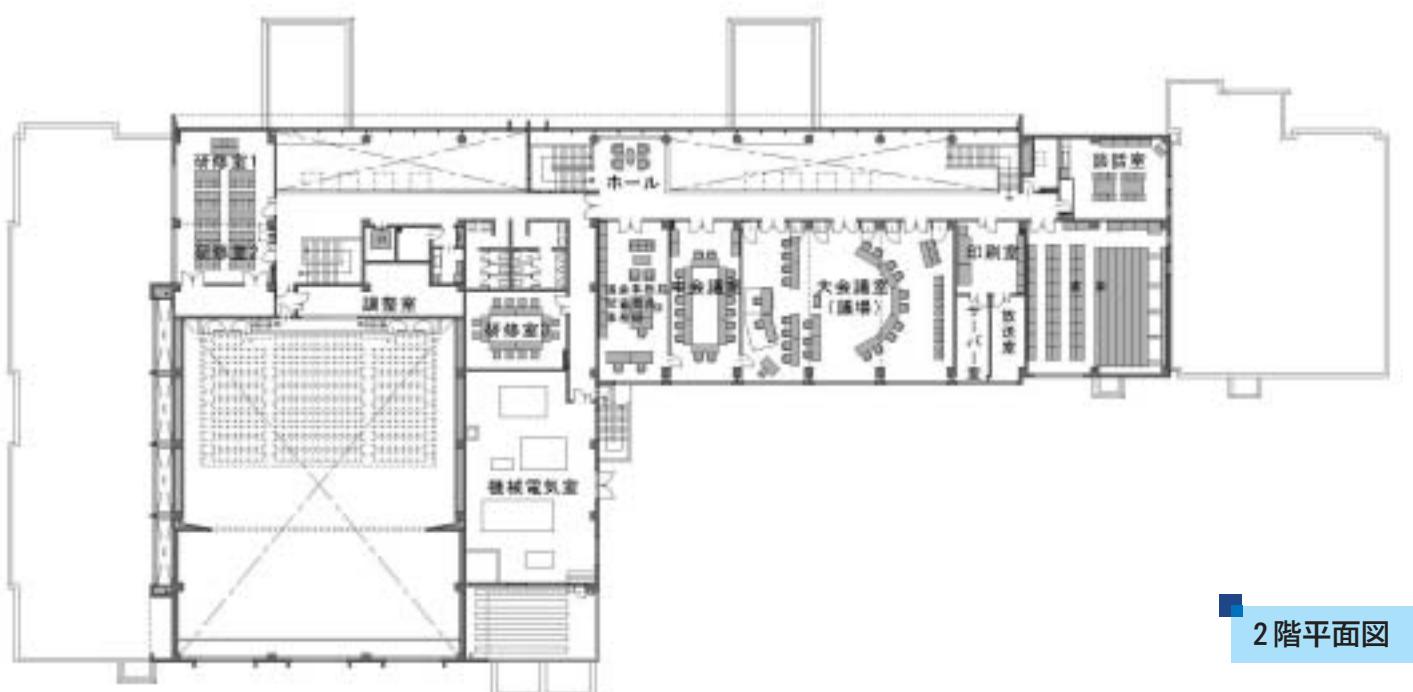
● 収納可能な移動観覧席（多目的ホール）

● ピット内
炭敷込状況

おわりに

本施設が完成し、快適に執務させていただいておりますが、旧役場庁舎では、夏季の暑い日には蒸し風呂のようになる事務室や、冬の屋根の雪下ろし等、今となっては良い思い出として残っています。

最後に、本施設建設にあたっては、設計業者並びに施工業者をはじめ、様々な方々の多大なご協力をいただき、平成20年11月に無事完成することができました。ここで本誌面をお借りして関係各位の皆様に深くお礼申上げます。



2階平面図

LCC（ライフサイクルコスト）や環境負荷の低減等の検討により、執務室全般は、各室個別空調方式「全熱交換型換気ファン+空冷式ヒートポンプパッケージ」を採用しています。一部の限られた系統には水蓄熱利用のヒートポンプを採用することによって、電気料金が割引されます。多目的ホールは単一ダクト空調方式「ダクト型パッケージ空調機+全熱交換器ユニット」を採用しています。

ロビー・ホールには効率的な深夜電力を利用した電気式蓄熱床暖房を採用し、日中のやかに放熱し、室内の温熱環境の安定化とランニングコストの低減に寄与しています。水廻り等暖房のみ必要な部分については、補助暖房として個別のサーモスタート付の電気式パネルヒーターを採用しています。

換気設備

各室の執務人1人分の外気量を確保するとともにシックハウス対策として24時間換気を考慮した換気設備としています。省エネの観点から、排気から熱回収可能な部分については、各室天井内に全熱交換型換気ファンを設置しています。多目的ホールについては、ダクト型パッケージ空調機と全熱交換器ユニットを設置しています。

また、自然エネルギーを利用した換気システムも採用しており、外気を地下ピットに取り込み、ピット内に敷き詰められている炭の効果（調湿やマイナスイオンの放出）により浄化された空気を建物内に送り込んでいます。夏期はピット内で外気を減温させ、冬期は地中熱や床暖房床下面負荷ロスにより外気を昇温して送り込むことにより、冷暖房の負荷も軽減しています。また、事務室は天井チャンバー方式を採用し、ダクト工事の低減を図り、冬期は、照明器具等の排熱により昇温された空気をOAフロアに送り窓際から室内へ放出しています。

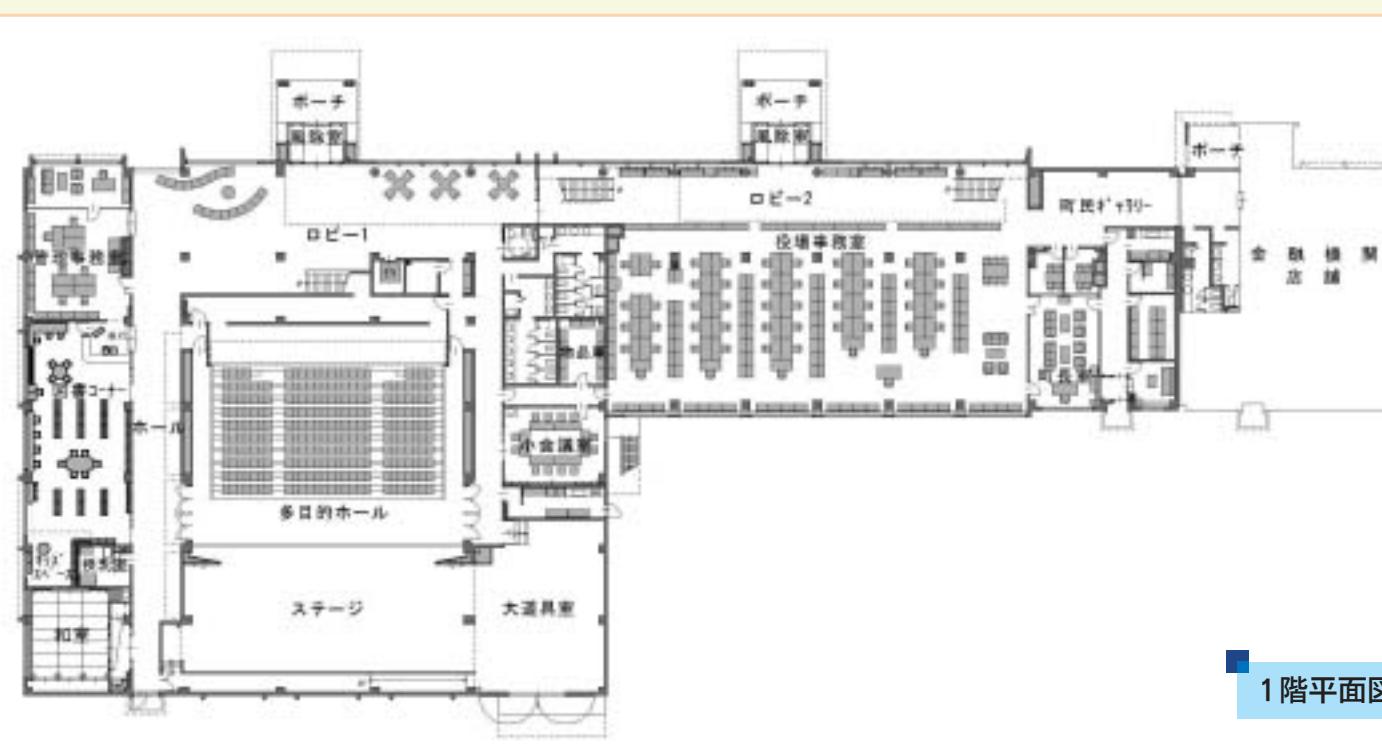
給水は町水道本管より引き込み、直圧給水にて各系統へ供給しています。配管系統は1・2階系統、便所系統等、部分更新が容易に行えるよう計画しています。

衛生器具の選定においては極めて限られた範囲への給湯であるため、省エネを考慮し、局所給湯方式にて計画しています。湯沸室は、電気貯湯式湯沸器を設置し、電気貯湯式湯沸器専用混合栓を設置しています。排水は、汚水・雑排水を合流させ、自然流下方式にて公共机に接続しています。雨水については、外構雨水枠に放流しています。

衛生器具を採用しています。また、多目的トイレには、オストメイト対応ユニットを設けています。



● 昭和26年に建設された旧役場庁舎



1階平面図

今回RE:STARTした「KIRAMEKI」の新コーナーとして「蝦夷みんたら」をスタートします。（みんたら…アイヌ語で「庭」を意味し、直訳すると「北海道の庭」となります。）道空衛の各支部から読者の皆様へ情報発信を行っていこう！皆さんに「KIRAMEKI」の紙面を活用してもらおう！との思いから出来上がりました。

「蝦夷みんたら」は、3つの焦点から構成されています。

- ①「各空衛みんたら」：各支部の活動報告。
- ②「情熱みんたら」：この北海道というフィールドで、様々な活動をされている「人物」や「企業」などの紹介。
- ③「タウンみんたら」：各地域からの発信情報を、ジャンルを問わずに掲載していきたいと思います。

「みんたら」というアイヌ語の発音に、皆さんに見てもらいたいとの思いを込め名付けました。

今回は初回ということで「札空衛」から、わが町「札幌」に焦点をあてて、様々な情報を発信していきます。

蝦夷みんたら

札空衛 みんたら

札幌空調衛生工事業協会 (略称 札空衛) 事業活動

並びに臨時総会（6/4）で法人化を決議し、8月1日に登記（有限責任中間法人）に至りましたが、設立総会・祝賀会等の模様は「きらめき 2007 Vol.21」をご覧下さい。

2 近年の主な活動状況

平成21年11月末の札空衛の会員数は60社です。これはピーク時平成17年の106社に比べて▲46社・▲43.4%も減少しています。日空衛の全国会議でも地域の厳しい状況について2年連続で話題にしていますが、北海道からも、札幌の入札（くじ引き）の状況や破産した札空衛会員が著した本「なぜ会社は大きくすると潰れるのか」などの情報を発信して大きな反響を受けました。

札空衛の1年間の主な活動状況は別表のとおりですが、その中から、「社会貢献活動」等の新しい動きについて紹介します。



① ラブアース・クリーンアップin北海道2009（ゴミ拾いウォーク）

今年から新たに、全道で「ごみ拾いウォーク」活動を展開する団体の活動に、参加しました。

札空衛では、「ごみゼロの日」（語呂合わせ）となっている5月30日メインデーの参加とし、中島公園には協賛企業から約268名が集合しました。札空衛からは、会員企業15社・37名が参加し、3班に分かれて事務局員の先導で13時30分から15時頃まで中島公園から近郊の住宅街に繰り出てごみを拾いました。



② 札幌市への寄贈

平成21年は社会福祉の分野へ現金10万円、平成20年は札幌市立病院に車椅子10台を寄贈しました。

この取り組みは総務委員会の発案で、法人化を契機に社会貢献活動に力をいれる団体のイメージを定着させたいという主旨で話し合い、これまで実施してきた親睦ゴルフ大会の財源を当てて実施することにしました。

この活動はこれからも継続しますが、広く福祉の分野に役立ててもらうために、今後も現金にしたいと考えております。



1 組織のうつりかわり

組織は、創設時の昭和13年から昭和29年までの間に名称を6回変更し、昭和59年4月1日に会員数75社でスタートしました。

また、平成18年頃から建設産業を取り巻く環境は、独禁法の改正、建設業法の改正、品確法の施行、公益法人制度改革3法の成立、官製談合防止法の改正など、大きな変革の嵐に見舞われました。

このような時代背景を受けて、札空衛は、道空衛のWG等と話し合い、平成19年度定時総会（2/21）

別表 近年の主な行事等の月別実施状況

月別	行 事 名 等	委員会等
1	平成20年度経営者懇談会	経 営
2	第3回定時総会	総 務
3	札幌市都市局と電気・空衛両協会との意見交換会	経 営
3	北海道設備設計事務所協会と電気・空衛両協会との意見交換会	経 営
4	ホームページの開設	事務局
4	組織変更 委員会主管業務見直し	事務局
5	ゴミ拾いウォーク	総 務
6	「札幌市都市局長」と「札空衛役員」との懇談会	経 営
6	新入社員研修会	経 営
6	事務局業務運営体制の見直し	事務局
7	1級管工事施工管理技士受験準備講習会	技 術
7	札幌市へ現金10万円寄贈（社会福祉の分野）	総 務
8	札幌市立病院に車椅子10台寄贈	総 務
9	北海道防衛局調達部と道空衛・札空衛との意見交換会	経 営
10	「会員・賛助会員」親睦交流会	総 務
11	会員親睦ボウリング大会	総 務
11	1級管工事施工管理技士受験準備講習会	技 術
11	安全パトロール	技 術
12	各委員会の反省会	事務局

③ 会員親睦ボウリング大会

札空衛唯一の福利厚生活動です。11月6日（金）午後6時から、札幌スガイボウルで開催しました。今回は会員22企業から男子38名、女子12名、計50名が参加して白熱した戦いを開催しました。

大会終了後は「サッポロライオン狸小路店」に集合し、しゃぶしゃぶで検討をたたえあい、和やかに表彰式を行いました。



④ 新事務局スタッフの紹介

春先から事務局体制の見直しにかかり、8月からパート社員として、永田仁美（ながたひとみ）さんを迎えるました。

いろいろお世話になりますが、ご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。



農業生産法人 株式会社 耕せ・にっぽん

従業員数：14名

私達は食の安全にもこだわり、無農薬無化学肥料での栽培に取り組んでいます。
また、世の中の若者に農業という体験を通して自信を持ってくれたり、
自然の中から少しでも何か学んでもらおうと、
若者たちを積極的に採用し共に仕事をしています。
無農薬の野菜や安全な加工食品を作るほか、
そういった雇用や新規就農に関する問題にも積極的に取り組んでいます。



経済の飽和状態に気づいた時に、今何が必要だろうと考えました。
そして、人に最低限必要なもの「食」に関わる仕事をしたいと農業の世界に飛び込みました。
農業という仕事は自然とのふれあいで、その年その年で状況は変化し「博打」のような部分もあります。
特に今年は冷夏の影響で予想収量は激減し、かなりてこずりました。
しかしその変化によって学びがあり、ピンチだからこそ浮かんだアイディアも沢山あります。
農業は「考える頭」を養ってくれると感じています。
また、やり遂げた時の達成感はひとしおです。
さらにお客様から「おいしかった」という声を聞けた時には幸福感でいっぱいになります。

まだ私達の会社は駆け出しの農家で、さらに自然農法にこだわるが故に「儲かる」という表現はまだ出来ません。
しかし、今後の展開によってはかなり成長していくものと信じています。
食糧自給率の問題が叫ばれる中、現場ではまだまだそれらに関する対策は浸透していません。
設備投資などのコスト、不作や自然災害によるリスク、商品販売の販路など・・・
特に新規就農者にとっては以前厳しい状況なのではないかと思っています。



きらめき

vol.27

広報委員会

●道空衛・札空衛

委員長

小林 雅英

編集長

鷺尾 太郎 (株)大氣社)

副編集長

安井 和哉 (株)サンプラント)

委 員

河村 憲一 (東洋熱工業株)

折笠 和哉 (新日本空調株)

工藤 守彦 (三建設機械工業株)

山田 力也 (株)昭和プラント)

池田 真士 (池田暖房工業株)

●道空衛

十勝圏担当

森 賢伸 (森設備工業株)

釧路圏担当

菊地 美幸 (太平洋設備株)

編集責任者

西川 清一 (株)ニシカワ産業)

印 刷

福島プリント株式会社

札幌市中央区南 9条西16丁目

☎0115613737

道空衛広報誌「きらめき」を読んで
のご意見・ご感想をお寄せ下さい。
投稿もお待ちしております。

●送り先

〒060-0004

札幌市中央区北4条西19丁目

北海道設備会館内

TEL 011(621)4106

(株)北海道空調衛生工事業協会

広報委員会

きらめき

生まれ変わった『KIRAMEKI』の新コーナーとして、“我が社の今一番輝いている女性社員”をご紹介して行くこととなりました。

Shining woman (道空衛会員名簿掲載50音順)



管理部 総務課

菊地 景子さん

第1回

池田暖房工業株式会社

入 社1年目です。総務課での仕事は、来社されるお客様への対応をする受付業務を始めとして、人事、保険関係の手続き、書類作成管理、出勤簿の集計、業務上で使われた自動車の精算、社員の方々が取得されている様々な資格の管理業務などを担当しています。

“いま思いっきり熱中していること”は？ · · · · ·

映 画鑑賞です！

特に好きな時間にゆっくり観ることが出来るDVDを借りることが多いです。最近観た作品の中では『リトルダンサー』(2000年に劇場公開されたイギリスの映画作品で、主演は“ダンスが得意な少年”という条件の下に約2000人の中から選ばれたイギリス人のジェイミー・ベル)がとても感動しました。是非観て下さい！泣ける作品です！

邦画や洋画、感動ものからコメディまで幅広いジャンルの作品を、週末にごっそりとDVDを借りて来て観るのが、小さな幸せなんです···。

それからもう1つ·····

ウォーキングです！休みの日に時間をみつけては歩いて··歩いて··会社への通勤時にも歩いて··歩いています。

(見習わなくてはいけないです、この頑張りは！)

“今年の目標”は？ · · · · ·

ジ ムに通うこと！

これまで何度も行こう！行こう！と思っていましたが、先延ばしにして來たので、今年こそは適度に身体を動かし、今まで以上に健康的な生活を送り、充実した1年間にしたいと思っています。



製葉書

1年ぶりに「きらめき27号」をお届けします。

2009年は、8月30日第45回衆院選で、日本の憲政史上初の本格的な政権交代が実現

するという歴史的な年でした。

この政権交代により、「コンクリートから人へ」のキャッチフレーズで公共事業は一転大幅な削減の動きに変わり、建設業界はかってない「維新の波」に不安を募らせながら新政権の運営を注視しているところです。

このような、かって経験したことのない環境の変化等は、協会運営にも大きく影響しているため、この1年間「0ベース予算」の策定を目標に掲げて、「事務局の体制・きらめきの編集内容・ホームページの活用・会費以外の収益事業」等々について役員会で話し合いながら一歩づつ実践しているところです。

このような訳で、この度の27号は、全体を16ページに圧縮して編集内容を充実するという高い目標に挑戦したところですが、会員諸氏のご評価はいかがでしょうか。大変困難な目標を克服してリニューアル版第1号の発刊にこぎつけた編集委員一同には、深く謝意を表するとともに、読者諸氏におかれましては忌憚のないご意見・感想をお聞かせ願えれば幸いです。

委員長 小林